

# 西鉄 9000 形



## 1.概要

西鉄 9000 形電車は西日本鉄道(以下：西鉄)天神大牟田線用の新型通勤電車です。この車両は老朽化した 5000 形を置きかえるため、既存の 3000 形をベースに安全・サービス・省エネルギー性能を向上させ、2017 年 3 月にデビューしました。



↑ 西鉄 5000 形



↑ 西鉄 3000 形

## 2.外観

### (1)前面

普通鋼製の前頭部は銀色地で、貫通扉をカラーリングの基軸としてロイヤルレッドの帯を配し、前に進む力強さと次世代車両の新しさを表現しています。前面窓は西鉄の伝統でもある側面まで回り込んだパノラミックウィンドウを採用し、LEDの前照灯・尾灯は縦に並べて配置されました。行先表示機は西鉄初となる表示機内部の上段に日本語、下段に英中韓語を表示させる4言語対応高輝度・広視野角フルカラーLED表示機です。



↑ 前面部



↑ フルカラーLED表示機

### (2)側面



↑ 9000形側面

側面車体色は無塗装ステンレス地で、窓下と上部には歴代車両を踏襲した赤帯が入っています。また、両開き扉を片側3か所に配置し、扉の間には西鉄初のUVカットガラスを採用した大型窓2枚を設けています。表示機は前面と同様のものを設置し、車両の速度に応じて消灯する設定も可能となっています。

### 3.内装



↑内装



↑9人掛けロングシート

白を基調とした明るく清潔感のある色調とし、ガラスを多用することで開放感のあるインテリアとなっています。

座席は全席ロングシートで、5000形よりも一人当たりの座面幅を拡大しています。さらに着座時の立ち上がりやすさを改善するため、座面の傾斜画を拡大し、座席内に2本のスタンションポールを設置しています。また、座布団の臀部から膝部を高くすることで、後述の床デザインとともに足の投げ出し防止を図っています。座席の両端に設置している袖仕切りは大型化することで事故時における安全性

に配慮しています。

床敷物の通路中央部には、西鉄沿線に存在する多数の川や水路の水の流れをイメージしたデザインが採用されました。また、このデザインの両側には2本の帯が引かれていますが、これは心理的な着席時の足の投げ出し防止を狙ったものです。

車椅子スペースは中間車も含め1両当たり1か所設置してい

ます。座席、釣り手、床敷物の色を一般部と区別することで、優先席や車椅子スペースであることが分かりやすくなっています。

乗務員室は前面貫通式の全室構造となっています。主幹制御器はT字型のワンハンドルタイプで、従来と異なり持ち手部分にデッドマン装置を内蔵しています。



警笛は2段式足ふみ笛弁を採用し、軽く踏むと電子警笛、強く踏み込むと空気笛が鳴動します。



↑ 車椅子・優先席スペース



↑ 運転台

#### 4.編成・運用



2017年8月現在3両編成4本、2両編成3本の計18両が運行を開始しており、主に5～7両編成を組んで各種別で運用されています。なお、他形式との併結は基本的に行われません。

←2両+3両の連結部

#### 5.さいごに

3000形以降11年ぶりの西鉄の新型車両となる9000形。西鉄の伝統を受け継ぎつつ、新しい技術がふんだんに搭載されています。そう簡単に行ける場所ではありませんが、みなさんぜひ1度乗りに行ってみてください。

#### 6.参考文献

西鉄くらしネット

[www.nishitetsu.jp/train/sharyou/9000.html](http://www.nishitetsu.jp/train/sharyou/9000.html)

鉄道ファン2017年6月号 交友社 平成29年6月1日発行

※写真は全て筆者撮影